

# 第1回基本構想推進区民協議会での検討事業

## 目次

010	子育て支援ホームヘルパー派遣事業	……	1	頁
053	学校支援地域本部事業	……………	2	頁
074	ミドル・シニア講座	……………	3	頁
116	生活習慣病の予防	……………	4	頁

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	010	事業名	子育て支援ホームヘルパー派遣事業
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	子育て・教育		子育て支援
個別計画	子育て支援計画		
所管	男女協働子育て支援部	子育て支援課	
目的	生後すぐから満1歳未満の乳児の育児を行っている保護者の精神的・肉体的負担の軽減を図り、すべての家庭が安心して子育てができるようにします。		
手段	生後から満1歳未満の乳児の保護者が、病気や通院、育児の疲れによるリフレッシュ等により保育ができないときにホームヘルパー（ベビーシッター）を派遣します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
登録者数	人	646	710	594	84%	781			859
延利用回数	回	1,050	1,155	848	73%	1,270			1,397

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	5,716	7,087	5,296	9,615		
特定財源	2,857	3,530	2,501	4,807		
一般財源	2,859	3,557	2,795	4,808		
所要人員 B	0.25	0.35	0.60	0.60		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	1,717	2,385	4,060	4,166		
総経費 E=A+D	7,433	9,472	9,356	13,781		

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
<b>【成果】</b> 26年1月より電子申請による受付を開始し、手続きの利便性を向上させることで、延利用回数が増加しており、満1歳未満の乳児の育児を行っている保護者の精神的・肉体的負担の軽減を図ることができました。	<b>【成果】</b> 継続してベビーシッターの派遣を行うとともに、多様化する子育てニーズに対応するため、子育て支援ホームヘルパー派遣事業を拡充した子育て訪問支援券事業の検討を行いました。	<b>【成果】</b>		<b>【成果】</b>	
<b>【課題】</b> 利用申請の増加に伴い、ベビーシッターのマッチングに苦慮するケースが増えていきます。また、料理や掃除などの家事援助の要望内容が高度化しており、ベビーシッターでは対応できない場合があります。	<b>【課題】</b> 平成26年3月、ベビーシッターに預けた児童が死亡した痛ましい事件が発生するなど、より一層安心・安全なシッターサービスを利用できる環境の整備が必要です。	<b>【課題】</b>		<b>【課題】</b>	
<b>指標達成度</b>		26年度	27年度	28年度	
		A	C		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①自宅でのリフレッシュや就労など事由に係わらず利用したいとの要望がありました。
②公募区民等が委員となっている子ども・子育て会議にて事業に対する意見を伺いました。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	拡充	子育て支援ホームヘルパー派遣事業を拡充した子育て訪問支援券事業を実施します。
		<b>② 予算の増減内訳</b>
		事業見直しによる増 2,528千円
27年6月末	拡充	<b>③ 所要人員の考え方</b>
		0.6人（登録・利用申請受付事務、例月統計事務、経理事務、登録台帳整理）
28年6月末		<b>④ 現状維持の理由</b>

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	053	事業名	学校支援地域本部事業
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	子育て・教育		教育
個別計画	文京区地域福祉保健計画（子育て支援計画）、文京区教育振興基本計画		
所管	教育推進部	庶務課	
目的	地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充、及び地域の教育力の活性化を図るため、学校支援地域本部を設置します。		
手段	設置校の活動状況を未設置校に情報提供すると共に、学校支援に対する実際の要望を把握し、調整を図ることで、学校支援地域本部の充実を図ります。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
学校支援地域本部設置校数	か所	15	1	2	200%	1			1
地域コーディネーター連絡協議会の開催数	校	3	3	3	100%	3			3
学校支援地域本部事業実行委員会の開催数	校	3	3	3	100%	3			3

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	7,733	10,439	7,808	13,349		
特定財源	4,842	6,933	5,103	8,493		
一般財源	2,891	3,506	2,705	4,856		
所要人員 B	0.50	0.50	0.50	0.50		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	3,434	3,407	3,383	3,472		
総経費 E=A+D	11,167	13,846	11,191	16,821		

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度	27年度	28年度	
<b>【成果】</b> 25年度は、小学校13校、中学校2校において学校支援地域本部による活動が行われ、授業・部活動・文化芸術活動の指導補助、校内環境整備、本の読み聞かせ、職場体験の受入先確保、学校HPの作成支援等が行われています。また、新たに学校支援の役割を求め、26年度から青少年委員を教育委員会の所管とするための準備を行いました。	<b>【成果】</b> 26年度は、小学校14校、中学校3校において学校支援地域本部による活動が行われ、従来に引き続き、学習支援、環境整備、行事における警備など多岐にわたる支援を行いました。27年度に新規に開設予定の3校について、担当校の青少年委員が準備段階から参画し、新年度向け円滑な運営できるようご尽力いただきました。	<b>【成果】</b>	
<b>【課題】</b> 本事業において、今後も学校支援地域本部の果たす役割は増大すると思われるため、設置校を増加するには、学校支援に対する学校のニーズ把握及び制度を担うコーディネータの発掘が欠かせません。また、ボランティア等の人材を確保するために、青少年委員と連携して地域の人材の発掘を推進していく必要があります。	<b>【課題】</b> 未設置校（小学校4校、中学校6校）について、どのような支援を求めているか、実情を把握しながら、今後の学校支援地域本部事業のあり方を考えていきます。	<b>【課題】</b>	
<b>指標達成度</b>	26年度	27年度	28年度
	B	A	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
②PTA関係者、及び地域の方々に活動を担っていただいています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	拡充	27年度4月に小学校2校、中学校1校が新規に設置され、現在、小学校16校、中学校4校の計20校に設置されました。今後の方針として、未設置校10校の意向を聞きながら、方向性を検討していきます。
27年6月末	拡充	<b>② 当初予算の増減内訳</b> 2,910千円増（新規3校の設置経費の増）
28年6月末		<b>③ 所要人員の考え方</b> 事務 0.5人
		<b>④ 現状維持の理由</b>

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	074	事業名	ミドル・シニア講座
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	福祉・健康		高齢者福祉
個別計画	文京区地域福祉保健計画（高齢者・介護保険事業計画）		
所管	福祉部	高齢福祉課	
目的	ミドル・シニア（概ね50歳以上の区民）の生きがいの向上及びこれまでの経験や知識を活かした社会参加を促進するため、様々なテーマの講演やワークショップ等を行う講座を開催します。		
手段	区内の企業、NPO団体等と連携・協力しながら、講演やワークショップ等を行う講座を実施しています。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
ミドル・シニア講座	回	5	5	5	100%	5			5
フォローアップ講座	回	1	1	1	100%	1			1

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	436	906	836	791		
特定財源	218	453	453	395		
一般財源	218	453	383	396		
所要人員 B	0.20	0.20	0.20	0.20		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	1,374	1,363	1,353	1,389		
総経費 E=A+D	1,810	2,269	2,189	2,180		

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	
【成果】	①平成24年度のミドル・シニア講座受講者を対象にフォローアップ講座を実施し、11名の参加がありました。②平成25年度ミドル・シニア講座を実施し、第1回「地域で役立つコミュニケーション」は20名、第2回「社会参加と健康」は17名、第3回「キャリア・デザイン」は16名、第4回「地域活動（シンポジウム）」は11名、第5回「マネープラン」は15名の参加がありました。	【成果】	①平成25年度のミドル・シニア講座の受講者を対象にフォローアップ講座を実施し、6名の参加がありました。②平成26年度ミドル・シニア講座を実施し、第1回「地域活動とコミュニケーション」は7名、第2回「健康と社会参加」は5名、第3回「キャリアとライフプラン」は8名、第4回「地域での仲間のつくり方」は9名、第5回「地域のつながり」は6名の参加がありました。
【課題】	ミドル・シニアの地域活動や社会参加に関する様々なニーズに対応するため、多様な団体と連携して事業を行うことが必要です。	【課題】	受講者数が減少傾向にあるため、講座内容等の見直しが必要です。
指標達成度		26年度	27年度
		A	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①平成26年度ミドル・シニア講座参加者から「講座（夜間）の実施時間（3時間）が長いので短くしてほしい。」という声がありました。
②区民、区内企業、NPO等の各種団体との協働により、講座を実施しました。

6 今後の方向性		
時点	方向性	内容
26年6月末	改善・見直し	① 事業の展開内容 事業の内容や実施方法の見直しを行い、外部団体と連携しながら、ミドル・シニアの地域社会への参加を促進していきます。
		② 当初予算の増減内訳 基準単価の増により普通旅費、食糧費が増加し、必要経費の見直しにより印刷製本費が減少した結果、115千円の減となりました。
27年6月末	改善・見直し	③ 所要人員の考え方 1人×0.2=0.2人と設定しました。
		④ 現状維持の理由
28年6月末		

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	116	事業名	生活習慣病の予防
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	福祉・健康		健康づくり
個別計画	文京区地域福祉保健計画（保健医療計画）		
所管	保健衛生部	保健サービスセンター	
目的	区民が健康の重要性を認識し、生活習慣を健康的に改善するよう働きかける機会を設けることにより、区民の健康の保持・増進と生活習慣病の予防を図ります。		
手段	医師、保健師、栄養士等による生活習慣病のリスクに応じた保健指導を実施します。さらに、栄養・運動の実践を取り入れた健康づくり教室（健康スキルアップクラス）、禁煙指導等を実施します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
講習会	回	2	2	2	100%	2			2
予防教室	回	7	7	7	100%	7			7
栄養指導	回	11	11	11	100%	11			11
ウォーキング	回	48	48	48	100%	48			48
禁煙指導	回	66	70	70	100%	70			70
ファミリーサポートデー	回	—	1	1	100%	1			1
健康づくり教室	回	—	48	48	100%	48			48

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	3,264	4,662	4,508	4,433		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	3,264	4,662	4,508	4,433		
所要人員 B	1.27	1.45	1.45	1.45		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	8,722	9,880	9,811	10,069		
総経費 E=A+D	11,986	14,542	14,319	14,502		

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】	生活習慣病予防のための健康教育活動として、メタボリックシンドローム予備群を対象にした予防教室を開催し、合計375名の参加者がありました。一般区民を対象にした歩く習慣作りのためのウォーキング教室には500名の参加者がありました。また、一般健康相談等において、呼気中一酸化炭素濃度を測定し、たばこに関する知識の普及や禁煙に向けての相談・指導を実施するとともに、食への興味、食の基礎力を育てるため、若年層を対象として講座を開催しました。	【成果】	生活習慣病予防のための健康教育活動として、メタボリックシンドローム予備軍とその家族を対象にした予防教室を開催しました。また壮年期の区民へ向けた望ましい生活習慣定着のための働きかけとして健康づくり教室を実施しました。	【成果】	
	延参加者数 生活習慣病予防教室 187名 ウォーキング教室 442名 健康づくり教室 510名				
【課題】	引き続き青壮年期の健康ニーズに合った企画を行う必要があります。また、教室参加後に、望ましい生活習慣が定着するような働きかけの工夫が必要です。	【課題】	引き続き青壮年期の区民に健康的な生活習慣の定着を促すための取り組みの工夫が必要です。また、子育て世代の区民を対象とする親子教室や若年層向けの食育講座などそれぞれの世代のニーズに合わせた事業運営も充実していく必要があります。	【課題】	
指標達成度		26年度	27年度	28年度	
		B	A		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①「わかりやすい内容で、具体的だったので参考になった。」「家族の健康管理という点でも参考になった。」「生活に取り入れたい。」	
②直接的な区民参画はありませんが、参加者の意見・要望を踏まえ、事業の運営方法や内容の改善に努めています。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	拡充	事業を引き続き実施し、生活習慣病の予防や健康の保持・増進に努めます。
27年6月末	現状維持	② 当初予算の増減内訳 報償費（禁煙指導看護師の減）の減 △339千円 一般需用費（消耗機材費の増）の増 64千円 備品購入費（スモーカーライザー購入単価の増）の増 25千円 一般委託費（スモーカーライザー購入による保守点検の減）の減 △31千円
28年6月末		③ 所要人員の考え方 保健師1.2人＋栄養士0.2人＋事務0.05人
		④ 現状維持の理由 現状でも一定の効果を上げていますが、引き続き、生活習慣病の予防が図れるよう事業を継続していきます。